

# A-⑭ れいわのみんなわプロジェクト part.2

子供の居場所としての活用	住民相互の学び合い・交流	○	関連施設・施策や民間企業等の連携	○
--------------	--------------	---	------------------	---

## 1 学習プログラムの展開（令和7年度）

日程	場所	学習・活動内容
5月31日（土）	東区民文化センター	○東区公民館ネットワーク事業（平和イベント） ・「戸坂からあの日の声を」と題して、原爆と戸坂地域の歩みをテーマに創作劇を披露。
6月28日（土）	戸坂公民館	○演劇体験・レクリエーション講座 ・子供たちが演劇に親しみながら交流。
7月21日（月）	松笠山	○フィールドワーク（登山） ・民話子供演劇の舞台となる松笠山を散策し、昔の戸坂地域を想像。
8月10日（日）	ひろしまゲートパーク	○被ばく体験講話会での平和劇の披露 ・創作劇「戸坂からあの日の声を」を披露。
10月12日（日）	戸坂公民館	○「第46回戸坂公民館まつり」での発表 ・民話子供演劇を披露し、地域住民や来場者の方に民話を通して戸坂地域の歴史を紹介。
1月10日（土）	戸坂公民館	○舞台小道具制作体験講座 ・地元企業から講師を招いて木工や舞台づくりの基礎を学び、舞台小道具（箱馬）を制作。
1月11日（日）	戸坂公民館	○世代間交流会 ・シアター（演劇手法）ゲームで交流をしながら、戸坂地域に長く暮らす方から昔話を聞く。



<b>対象</b>	小学生～大人
<b>経費</b>	70,105円（広島県公民館連合会助成金・寄付金） （報償費8,000円、旅費4,200円、需用費57,905円）
<b>連携先</b>	広島市立戸坂・戸坂城山・東浄小学校、戸坂中学校、（一社）舞台芸術制作室 無色透明、（株）美術センター、NPO 法人松笠山の会

<b>問合せ先</b>	広島市戸坂公民館 〒732-0016 広島市東区戸坂出江2丁目10-26 電話：082-229-3110 メール：hesaka-k@cf.city.hiroshima.jp
-------------	--

## 2 学習目的

- 地域の子供たちが、地域に伝わる民話や歴史、言い伝え等を学ぶことで、地域への愛着心を育む。
- 地域に伝わる「戸坂の民話」を活用して、誰にでも分かりやすい「演劇」を上演することで、地域の歴史や魅力を発信する。

## 3 学習目標（学習目的の達成に向けて、付ける力）

- 演劇を上演することを通して、互いの意見を尊重しながら助け合うとともに、生涯を通して地域を大切にできる機運を醸成する。
- 演劇を通して、子供たちと地域住民や関係者が関わりをもつことで、地域コミュニティを活性化し、共助のまちづくりに寄与する。

## 4 事前に必要な知識や準備物

- 事業の広報及び参加者募集に係る小学校・中学校との連携
- 演劇の指導や小道具等の制作支援に係る地域の企業やNPO 法人等との連携
- 紙芝居（地域に伝わる民話）制作者への協力依頼
- 演劇の台本及び小道具等の検討、制作

## 5 留意点

- 事業の途中でも改善が図れるように、参加者や職員による振り返りを適宜行い、課題を把握する。
- より多くの参加者が集まるように、公民館だよりへの掲載やチラシの制作を行い、小学校や中学校に出向き、事業への協力について説明を行う。

## 6 成果

- 地域の民話や歴史を知り、イベントで演劇を披露する体験を通して、地域への愛着を深めることができた。
- 演劇を通して、地域住民に歴史や文化等を知ってもらう機会を提供することができた。
- 地域住民や団体、NPO、企業等と連携・協働して、公民館事業の推進体制を構築できた。

## 7 課題

- 児童生徒の参画者が固定化する傾向にあるため、学校等と連携しながら広報活動を行うとともに、地域住民や新たな外部団体との連携・協働について検討する。
- 演劇の小道具や衣装、講師の謝金、広報に係る費用等、事業費の工面や運用を工夫していく必要がある。

## 8 学びの成果を事業後に生かすための工夫

- 参加者アンケートをもとに、講師と事業内容や運営方法について協議し、次回以降の活動の見直しを行った。
- 事業に関わった地域住民から、「今後も協力したい」といった声があり、大人の理解が子供たちの参画にもつながることから、多世代が関われる事業の展開を心がけている。